



日進北小だより

令和8年8月26日 第5号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<https://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、
行動できる子どもを育成する
～自分一 すてきなあいさつ 日北っ子～



児童の学校生活の様子を、
随時更新し掲載しています。
どうぞ、ご覧ください。

SNSや動画との上手な付き合い方 ～いじめにつなげないために～

校長 寺越 崇征

ここ数年の酷暑と比べると、今年の夏休みは比較的過ごしやすいい日が続きました。熱中症指数が「危険」の目安とされる31度を超えた日も、夏休み中は数日しかなく、エアコンを使わずに過ごせる日も多くありました。子どもたちは、それぞれに思い出に残る夏休みを過ごしたと思います。

さて、7月29日に「ストップいじめ子どもサミット」が開催され、さいたま市立学校の代表児童生徒が参加しました。本校からは代表委員会の委員長が参加し、本校のいじめ防止に向けた取組を丁寧に発表してくれました。発表の途中には、準備していた画面が映らないというハプニングもありましたが、落ち着いて自ら対応し、最後まで立派にやり遂げる姿がとても印象的でした。本校の目指す児童像を体現する姿でもあり、校長として大変うれしく感じました。



サミットの後半では、区ごとに「ストップいじめ」を実現するためのスローガンづくりが行われました。本校は宮前中学校区として西区の小・中学校との話し合いに参加しました。その中では、SNSをきっかけとしたトラブルやいじめが各校で共通の課題となっていることが話題になりました。そこで、区内で共通して取り組む内容として、SNSの使い方を家族で確認する日を毎月設けることや、スマートフォンの利用時間、夜間の送受信を控える時間帯について考えみんなで守っていくことが提案されました。あわせて、西区のスローガンは「みんなで守ろう ウェストタイマー」に決まりました。

これらのルールやスローガンについては、今後、児童会や学校運営協議会などでも取り上げ、本校としてどのように取り組んでいくかを検討していきます。本校でもスマートフォンを持つ児童が増えており、SNSに関わるトラブルは学年を超えて実際に起きています。大切なのは北区や西区といった区分ではなく、小学校と中学校が連携して子どもたちを支えていくことだと考えています。

今年4月の全国学力・学習状況調査では、小学6年生の37.3パーセントが、1日に3時間以上をSNSや動画視聴に使っているという結果が示されました。また、利用時間が長いほど、各教科の正答率が低い傾向も見られたと報告されています。こうした結果からも、子ども自身に時間の管理を任せきりにすることの難しさを感じます。だからこそ、家庭と学校が協力しながら、共通の見通しをもってルールづくりを進めていくことが大切です。

さらに、時間の長さだけでなく、どのようなやり取りをし、どのような内容に触れているのかという点にも目を向ける必要があります。子どもたちは成長とともに、自分だけの世界や友達とのやり取りを大切にできるようになります。その気持ちを尊重しつつも、いじめ撲滅と同様に、判断が難しい場面では、大人が適切に関わり支えていくことが必要です。

スマートフォンやAIは、これからの社会においてますます身近で欠かせないものになっていくはずです。だからこそ、便利さに振り回されるのではなく、自分の生活や人生をよりよくするための道具として、正しく賢く使う力を子どもたちに育んでいきたいと思っています。そのためには、学校だけでなく、ご家庭や地域の皆様のお力も欠かせません。ご理解とご協力をお願いいたします。

今日から2学期が始まります。まだ暑い日も続きますので、児童、職員ともに熱中症に十分気を付けながら、安全に配慮して教育活動を進めてまいります。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。